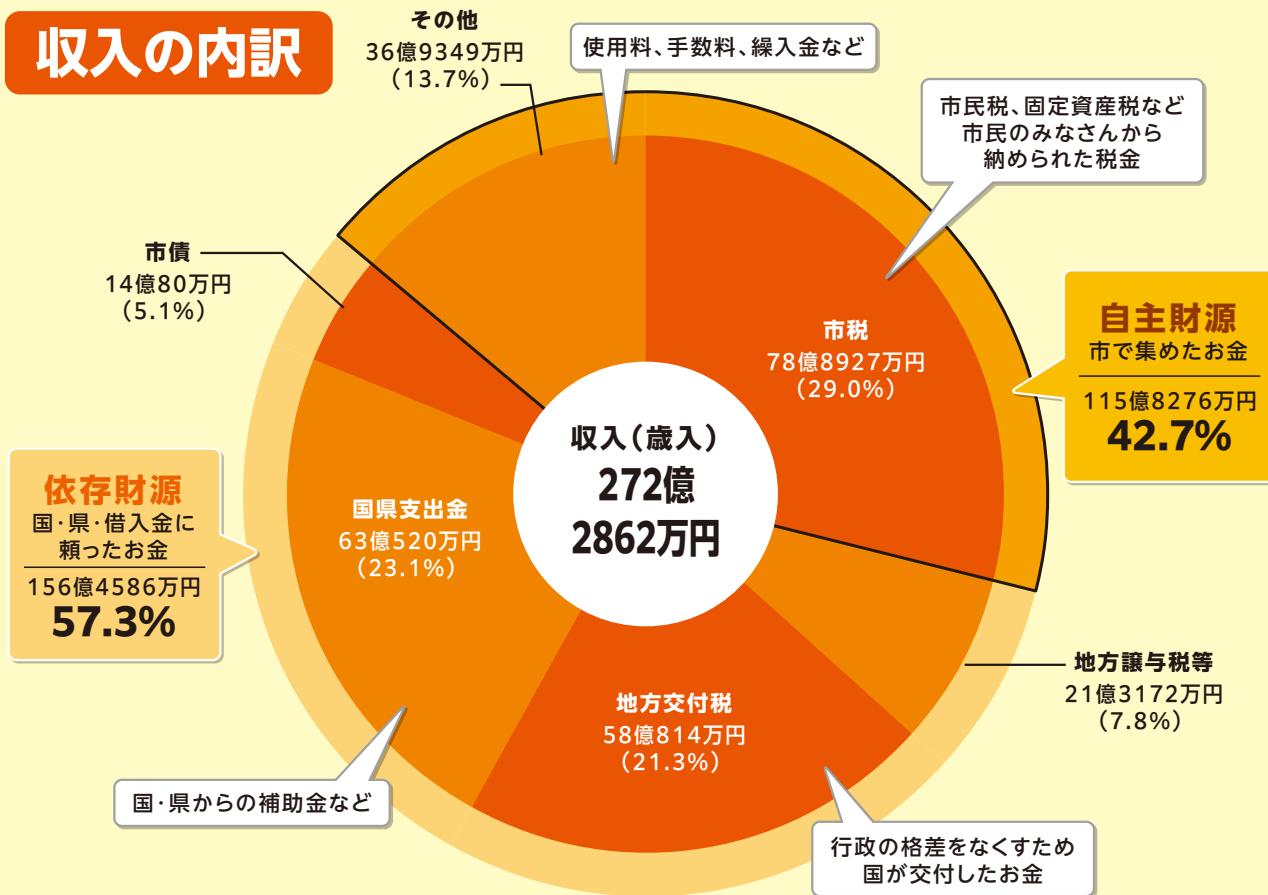


収入の内訳



▲利用されていない旧八開庁舎

八開庁舎の 現状は

Q 八開庁舎アスベスト含有検査の内容と結果は。

A 顕微鏡法による定性分析を行い、アスベストは検出されなかった。

Q 八開庁舎の老朽化の現状と定期調査は。

A 老朽化の現状は、建物内で雨漏りが複数箇所発生している。また空調の修理が不可能になった。定期調査は目視で確認している。

空き家等対策 推進事業

Q 空き家の定義と所有者の有無による対応は。空き家の総数と所有者の有無も含めた内訳は。

A 空き家の定義は概ね年間を通じて使用実績がない建物。空き家の所有者が確認できれば適正管理の依頼を送付している。令和6年3月末、空き家の総数は503件、佐屋地区203件、立田地区71件、八開地区50件、佐織地区で179件、相続人不存在は11件。

立田北部・南部 コミュニティ 施設の状況

Q コミュニティセンターの入浴施設老朽化の現状と今後の管理体制は。入浴者のうち立田地区在住以外の利用者数、

高齢者以外の利用者数は。入浴以外の利用者数は。

A 入浴施設の老朽化は、両施設とも建設から20年が経過し、平成25年からは設備等の修繕を毎年行っている。

立田地区在住以外の利用者は、立田北部全体の42.5%、立田南部は、全体の66.1%。60歳未満の利用者割合は、立田北部は、全体の約35.6%、立田南部は、全体の約27.7%。入浴施設以外の利用者は、立田北部は、集会室431人、研修室1100人、和室742人、実習室221人、その他1046人。立田南部は、集会室1260人、研修室205人、和室81人、実習室0人、その他の利用者836人。